

花火にも 負けずとひびく セミの歌



友部小6年
大畠 けいた 慧泰

支部だより ひがし

第 164 号

(令和4年)

発行日 2022年9月15日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



的棒を狙っても中々入らない



6月の天気は落ち着きがない。毎年上期の交流事業は、中止だったり延期になったりで、心配の種でしたが、今年度は友部公民館の体育室を使える事になり、心配の種がひとつ減ったところで、コロナも落ち着いて、更に準備を進めました。参加募集についても、今回はクラブ以外に回覧板による公募を実施した結果、2名の方が応募してくれました。公募参加が増えれば、参加の人達と交流が増して良いと思います。



輪が的棒に入るかな？



次に賞品を貰うのは誰かな？

大会当日（6月14日）は9時受付の予定で、30分前の開館で、クラブからの協力者の力で大急ぎで準備に入りましたが、30分では余裕がなく、皆さんには御迷惑を掛けてしまいました。ゲーム開始までの色々な混乱とトラブルを乗り越えてスタートしてみれば、意外にスムーズに進行、

初めての輪投げ大会

副支部長 小島 力男

大会当日（6月14日）は9時受付の予定で、30分前の開館で、クラブからの協力者の力で大急ぎで準備に入りましたが、30分では余裕がなく、皆さんには御迷惑を掛けてしまいました。ゲーム開始までの色々な色々な不手際を御詫言するとともに、次回も是非参加下さるよう御願いたします。

団体戦の部

優勝 きらくの会
準優勝 柿橋長寿会B
3位 支部役員B



賞品貰ってラッキー



宮前鴻巣ブロック
6/11(土) 鴻巣集落センター



南友部ブロック
6/26(日) 地域交流センターともべ



五平ブロック
7/3(日) 五平公民館



柿橋ブロック
6/12(日) 地域福祉センターともべ

6月中旬から7月初めにかけてブロックごとに3年振りとなる「対話と食事会」をコロナ感染対策をしっかりと実施しました。コロナ感染の下げ止まりが続く中でしたので少しでも感染のリスクを避ける為、マスクを外さず出来るシルバリーハビリ体操やビンゴゲームで楽しんで頂き、お弁当は帰ってから食べて頂く事と致しました。リハビリ体操で体をストレッチ、ビンゴゲームではブロックごとに思考を凝らした賞品を準備、ビンゴ!!の声で大盛り上がりでした。

今回は参加者の募集を初めて回覧板で行った事もあり、どのくらいの方に参加して頂けるのか心配していましたが、多くの方に参加して頂き、「とても楽しかった」との声も沢山頂きました。感染は？参加者は？いろいろな心配しながらの実施でしたが、多くの方に楽しんで頂き女性部員も安堵しました。

3年ぶりの対話と食事会

女性部 部長 橋本 八重子



東支部から
コロナ禍の支部行事

副支部長 深谷 正孝

新型コロナウイルス感染は、第6波が終わり落ち着いたと思ったのもつかの間、第7波となり、ステージは3となった今日このごろであります。わが東支部の活動も本格的になつてきた所、水をさされた状況ですが、今後の3、4回目のワクチン接種により、高い予防効果が得られる事を期待しています。福祉バスも、条件付きで運行される事になって来ました。

さる6月には、「第1回輪投げ大会」又、ブロック別の「対話と食事会」を実施しました。多数の参加があり、大盛況のうちに終わりました。特に「輪投げ大会」では、後少しでパーフェクトもあり大歓声でした。賞品には即、日常生活に役立つ物ばかりで賞賛の嵐でした。「対話と食事会」ではビンゴゲームがあり、

一喜一憂してしまいました。今後、一大イベントである『グラウンドゴルフ大会』『ふるさと祭り』でのバザー出品等控えており、役員一同力が入ってきています。前年のバザーでは、午後から大出血サーブス(8〜9割引)があり、多くの人に喜ばれました。私的には、前年より『グラウンドゴルフ』から今年の『ビンゴ』とブービーのよう順位であったので、こんなはずではないと、雪辱を期している今日この頃であります。

今後も東支部では、皆様と共に、各活動・行動等を通じて元気に会えて過ごしていきたいと、心から楽しみにしています。多数の参加・参画を待っています。

「夕顔」栽培の魅力に
〜畑仕事の持続のため「健康体操」も〜

東ヶ丘区 佐藤 武彦

「夕顔」って?!ウリ科のつる性で、夕方に花が咲き、冬瓜のような実は食べてよし、硬くなるまで成長させれば、工作の材料にもなるなど、一年中楽しむことができる植物です。

「夕顔」との出会い、定年退職後、田舎の友人から一

株の夕顔の苗を頂いた。それが縁で、今まで18年間栽培し続けています。綺麗で真っ直ぐな実を収穫するためには、「棚栽培」が必要です。棚にぶら下がっている実を見ると、『大きくなれよ!』とつい声をかけてしまいます。この時じつに「生き甲斐」を

子ども会交流懇談会を開催

6月19日に地域福祉センターともべA館で子ども会交流懇談会が開催されました。

東支部の子ども会は、原の店、鴻巣、宮前、西飯田、五平、柿橋、ひばり、香取の8カ所で、会員数は160人です。当日は子ども会代表者と社協東支部、および友部小学校の校長先生との3者懇談会を予定しましたが、校長先生は予定があり、出席できませんでした。

子ども会は例年、ラジオ体操、クリスマス会、歓送迎会、地区によっては廃品回収、お祭りなどの活動を行っていましたが、2年間にわたるコロナ禍の影響があり、ほとんど活動できない状況でした。まれに実施しても、役員の方は感染対策や、もしも感染したらどうするか、悩みが多かったようです。

感じてしまいます。

その他、畑仕事も長くできるように、10年前から柿橋公民館での、シルバリーハビリ体操にも従事し、地域の皆さんと一緒に、加齢に伴う体力の低下を、少しでもカバーできるように努めているところです。皆さんもシルバリーハビリ体操に参加してみませんか?待ってまーす!

(岩田孝司)



大きくなった夕顔を抱いて



子ども会と東支部との懇談会風景

少子高齢化の時代となり、平成元年の子ども会数12カ所、会員数228人と比べると大幅に少なくなり、更に共働きや子どもの習い事など、活動するには余裕のない環境となりました。今後の子ども会の方向をどのように進めるか、課題が多い子ども会交流懇談会でした。(内田利二)

歴史ある南友部の交差点

南友部交差点は南友部原店(俗称「はらんだな」)地区に位置し、友部駅から東京方面寄りの友部里道踏切を南友部方面へ進む県道友部内原線と、穴戸方面から友部駅北口へ向かう県道杉崎友部線とが交差する古くからの交差点です。

交差点手前両側には、板塀に囲まれた旧家があり、昔の面影を残しています。私の記憶では、昔は踏切から交差点に向かう信号機は黄色の点滅でした。また遠方に出かけていて交差点が見えてくると、友部に帰ってきたとホッとする瞬間でした。以前の賑わいと違って車両も人も少なくなり、静かな風景となっています。(斎藤義範)



南友部の交差点

編集あとがき

コロナ禍の生活になって3年目になります。笠間市でも感染者が累計6000人(8/20現在)を超え、第7波となりました。大人も子供もマスク姿が普通になつていきます。報道によると、20代から40代のワクチン接種の割合が低いといわれています。感染した方の話を聞くと、後遺症が大変になると聞きました。自己防衛で人込みではマスク姿、外出から帰ったら喉のうがいをする、手洗いを、基本的なことをするしかないのかなと思います。早く明るい話題で日常生活を過ごしたいものです。(斎藤義範)